



Sekishou 通信



R7・3.19

NO. 31 (最終)

文責：校長 酒井



めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子

共に歩んだ202日間(19日:終了式・21日:卒業式)

先日、徒歩での通勤途中、桜の枝に鶯を見つけました。さえずりを期待してしばらく耳を傾けていたのですが、残念ながら、そこまでのサービスはなく、尾を少しだけ下げると飛び立っていきました。

終了式・卒業式が近づいてきました。今年度の授業日数は202日、振り返ると、**子ども達の一人一人の頑張りが、多くの場面で発揮された202日間でした。**

今年度は、感染症の流行も最小限に抑えられ、大きな事故や事件もなく、子ども達にとって健康な日々を重ねることが出来たのは、皆様のご配慮お陰です。改めまして感謝申し上げます。

前号で少しだけお知らせしました、校長室での会食会ですが、6年生全員と共にすることが出来ました。久々に顔を突き合わせての給食は、初めこそ会話に困りやや緊張気味の様子でしたが、しばらくするとこれまでのうっ憤を晴らすかのような賑やかさ、何度かたしなめる場面もありました。

6年間の思い出や中学校での部活動の話、残念だったこと、今だから言える内緒の話…、話題は多岐に及びましたので、久々に腹を抱えて大声で笑うマナーの悪い校長でした。

「**学校の事は子どもが一番よく知っている。**」と言いますが、子ども達の口から飛び出す学校評は、おおむね満足のいくものでした。もちろん、紹介できない内容もたくさんあるのですが、子ども達との約束ですので、担任の先生方にも秘密です。

今年は、コロナ禍の影響で滞っていた子ども達の関係性の希薄化や体験不足を補い、「**失敗も学びに変えるたくましい子**」の育成をテーマに教育活動を展開してきました。創立10周年の節目の年でもあり、学校の教育活動を見つめ直し、**様々な活動の主語が「子ども」となるよう意識してきたつもりです。**先生方をはじめとするスタッフ全員で、**子ども達一人一人に寄り添った教育**を心掛けてきました。

働き方改革を進める中、多忙化解消と共に多忙感の解消にも努めてきました。全てをスリム化するのではなく、精選すべきところと大切にすべきところの見極めもしてきたつもりです。

保護者の皆様に、ご意見や相談を頂く中で、力不足や配慮不足を反省することも多くありましたが、一方的なクレームは皆無で、話し合いを進める中で方向性を見つけることが出来たのは、学校としての財産となりました。重ねて感謝いたします。

22日から、ちょっと長めの春休みが始まります。今年度は3月31日までとなります。6年生も卒業式後も31日までは小学校籍ですので、何はあれば学校までご連絡をお願いします。なお、春休みの過ごし方については配布済みの生徒指導だよりご確認ください。

令和7年度は4月7日よりスタートします。新しい年もよろしく申し上げます。

1年間のご愛読ありがとうございました。(完)



☆たくさんのご協力感謝します。(感謝状贈呈式)

「創立10周年を迎え、地域とともに新しい一歩を！」これは、今年度重点目標のサブテーマですが、例年にもまして、今年は、「ひと・こと・もの」に積極的に関わった「ふるさと学習」を、地域の多くの方々の協力のもと実施することができました。

19日は感謝状贈呈式です。皆様の多くの支えに心より感謝いたします。

中田の里づくり委員会	瀬谷 徳吉 様	「学習畑とサツマイモ苗の提供及び管理」
石川ライオンズクラブ	我妻 英昭 様	「ライオンズの森の管理」
石川読み聞かせの会	富岡ケイ子 様	「毎週金曜日の児童への読み聞かせ」
(株)天泉	深谷洋一郎 様	「かるた大会景品の提供」
(株)八幡屋	渡邊 武嗣 様	「雑巾用タオル」
	岡崎 勝宏 様	「学校田の提供及び管理」
	國井 伸行 様	「絵画(光さすほうへ)」
	鈴木 義延 様	「干し芋づくり講師」
	溝井 吉一 様	「ムラサキシキブ苗木」
	山本 勉 様	「事務ファイル」

☆おめでとう。6年間無欠席、鉄人カルテット ☆☆☆☆

今年度6年間無欠席の4人の鉄人を紹介します。19日の修了式で表彰します。

林 和奏 さん	高根 蓮介 さん	姉帯 咲良さん	藁谷 奏 さん
---------	----------	---------	---------

※ 感謝状贈呈式、表彰の様子は、HPで紹介します。

持続可能な活動への引き続きのご理解をお願いします

新型コロナ感染症の拡大から、大きく様変わりした教育現場ですが、石小は子どもにとっての不易と流行を見極めてきました。教育効果や費用対効果変えるもの、変えてはいけないもの、このままでは継続できないものなどを判断し適宜形を変えて実施してきました。

文科省の指針で、標準時数内での授業の実施が求められる中、学校では授業以外の余剰時間はほとんどなく、バスの時間もあり放課後の活用ができず、現状として休み時間や昼休みを当てました。他地区では様々なものを廃止や中止している中、本校では地区や地域の実態を鑑み、次のように、行事や取り組みを**持続可能活動**となるように改善を図ってきました。

- 1, 課外活動部の大会や練習内容の精選について
 - 練習時間を制限し、量よりも質の充実を図る。
 - 外部の講師を積極的に招き、教育的な効果を上げる。
- 2, 行事等の再編成について
 - 運動会を午前中のみとして実施、その他の行事についてもねらいに沿って実施。
 - 休止していた家庭訪問を、地域訪問として実施。
- 3, 鼓笛活動の見直しについて
 - 隊形を工夫し、指導の時間の短縮を図る。
 - 衣装の老朽化に伴い、これまでの衣装を廃棄し別衣装(Tシャツなど)の簡略化を図る。
- 4, 通知表の前後期制の採用について
 - 学期ごとの通知表を前後期制年2回とし、学期ごとにはミニ通知表を配付。
- 5, 2・4年生の年度末文集について
 - 教育課程に無い取り組みのため4年文集の廃止。2年の文集については授業の一環として継続。
- 6, その他
 - 6年間無欠席賞の廃止の検討→盾の贈呈ではなく別の形とする。

今後も皆様の引き続きのご理解をお願いします。